

令和2年度 人権学習充実拠点校事業

人権学習 実践事例集

岡山県教育庁人権教育課

はじめに

人権学習充実拠点校事業は、拠点校における人権課題を明確にした人権学習の授業公開等によって、人権教育を通じて育てたい資質・能力の育成を図る取組を促進するとともに、「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」や「第3次岡山県人権教育推進プラン」の周知を図り、人権教育の指導方法の充実及び改善を図るものです。

この事例集は令和2年度に拠点校で公開された人権学習の授業をまとめたものです。コロナ禍による影響で教育活動が様々な面で制約を受ける中で実践されました。各校において本事例集を参考にいただき、日々の人権教育の取組に生かしていただきたいと思えます。

目次

思いやりのある気持ちで人と接し、 自分も相手も異なる考えや感情を もった存在であるとともに、互いに かけがえのない存在であることを 実感できる取組	自尊感情の育成	(年少・年中・年長) 早島町立早島幼稚園	1
相手を思いやる心	障害のある人	(第4学年 特別の教科 道徳) 津山市立勝加茂小学校	7
偏見や差別の誤りに気付き 誰もが幸せな社会を目指そう	ハンセン病問題	(第6学年 特別の教科 道徳) 津山市立勝加茂小学校	10
障害のある人の理解を通して	障害のある人	(第2学年 総合的な学習の時間) 吉備中央町立加賀中学校	13
正しく怖がり、 賢く使うインターネット	インターネットによる 人権侵害	(第3学年 特別の教科 道徳) 吉備中央町立加賀中学校	17
ハンセン病問題を学んだ 私たちにできること	ハンセン病問題	(第2学年 総合的な探究の時間) 岡山県立邑久高等学校	20
基本的人権と 性的マイノリティ(LGBT)の問題	性的少数者	(第2学年 現代社会) 岡山県立邑久高等学校	24

掲載されている事例の学習活動や
人権教育の視点は、他の教科等にも
取り入れることができます。



人権課題 自尊感情の育成

思いやりのある気持ちで人と接し、
自分も相手も異なる考えや感情を
もった存在であるとともに、互いに
かけがえのない存在であることを実感できる取組



【年少】

(1) 幼児の姿と教師の願い

幼児の姿

- 歌や手遊び、リズム遊びが好きな幼児が多く、喜んで真似たり体を動かしたりする姿や、教師や周りの幼児とやり取りを楽しむ姿が見られる。一方で、落ち着いて話を聞けなかったり、思うようにならないことがあると大きな声を上げたりする幼児がいる。
- 一日の生活の流れが分かり、片付け等が自分でできる幼児が増えてきているが、教師が個別に声を掛けたり、援助が必要であったりする幼児もいる。
- 自分のしたい遊びを見つけ、繰り返し試したり、なりきったりして楽しむ姿が見られる。友達を誘ったり、一緒に楽しんだり、友達との関わりも見られるようになってきている。一方で、したい遊びを見つけにくく、遊びを転々とする幼児がいる。

教師の願い

- 幼児の好きな歌や手遊び、リズム遊びを生活のいろいろな場面に取り入れ、楽しみながら活動に参加できるようにしていきたい。また、落ち着いて話が聞けるように、上手にできている幼児を紹介して手本にすることで、全体の意識を高めていきたい。大きな声を上げる幼児には視線を合わせて、言葉にならない思いに寄り添いながら、気持ちを少しずつ言葉に表すことができるように声を掛ける。
- 片付けを頑張っている幼児の姿を言葉で伝え、自己肯定感を高めたい。また、援助が必要な幼児には、励ましの言葉や手を添えたり、興味のある活動を取り入れたりと、楽しむことができるようにする。
- 一人一人がしっかりと遊びを楽しんで満足感を味わうことができるように、幼児の思いや姿に共感し、認めていくようにする。そして、周りにいる幼児にも知らせながら、幼児同士がつながるきっかけを作っていく。

(2) ねらいと内容

- 自分のしたい遊びを見つけて、友達や教師と一緒に遊ぶ。
 - ・友達や教師としたい遊びを見つけて十分に楽しみ、満足感を味わう。
- クラスのみなどと一緒に、リズム遊びや表現遊びを楽しむ。
 - ・音楽や教師の言葉に合わせて、動いたり表現したりすることを楽しむ。

(3) 評価の視点

- 自分のしたい遊びを見つけて、友達や教師と遊びを楽しむことができていたか。
- 音楽や教師の言葉に合わせて動くことを楽しんでいたか。

(4) 本日の保育と人権教育

- 幼児が楽しんだり頑張ったりしている姿をしっかりと言葉で認めていくことで、満足感をもち、自己肯定感を高めていくことができるようにする。

(5) 本日の展開

幼児の活動	環境構成(★)及び教師の援助(・) 人権の視点での援助(◎)
○登園する。	・一人一人とあいさつや言葉を交わしながら温かく迎える。
○持ち物の整頓をする。	・朝の預かり保育の延長で遊んでしまいがちな幼児には、持ち物の整頓ができてから遊ぶことを伝え、手を添えて援助する。
○あいさつをする。	・いつも親しんでいる手遊びの音楽をかけることで、楽しみながら集まることができるようにする。
○それぞれの遊びをする。 (園庭) ・泡や色水を作って遊ぶ。 ・ままごとをする。 ・砂場や自然物で遊ぶ。 ・リズム遊びをする。 ・総合遊具で遊ぶ。 ・乗り物で遊ぶ。 (室内) ・ネコごっこをする。 ・作って遊ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・泡や色水作りを楽しんでいる幼児の姿を認め、泡や色の変化と一緒に驚いたり喜んだりしながら、作る楽しさに共感する。 ・友達と乗り物に乗ったり、レッカー車等に見立ててイメージを共有したりしている姿に共感し、一緒に遊ぶ楽しさを感じるように声を掛ける。 ・ネコごっこをしている幼児とやり取りをしながら楽しさを共有し、イメージを広げることができるようにする。 ・遊びを見つけにくい幼児には、興味のある遊びを探りながら、楽しむことができるように気持ちを盛り上げていく。
○片付けをする。	◎片付けを頑張っている幼児の姿を認め、言葉にして伝えることで自信や自己肯定感につなげる。
○牛乳を飲む。	・牛乳が苦手な幼児が少しでも飲むことができるように励まし、飲むことができたときには共に喜ぶ。
○持ち物の整頓をする。 ・リズムを踊る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりをもって全員ができるようにし、全員が揃うまで楽しんで待つことができるように、リズムをかけておく。 ★幼児が動きやすいように、場を広くする。
○忍者の修行をする。 ・リズムを踊る。 「ゆびにんぼう」	<ul style="list-style-type: none"> ・「忍法〇〇の術」の合図に合わせて、岩になったり、片足立ちをしたりして、上手にできている幼児を認めながらみんなで楽しむことができるようにする。 ・活動に参加しにくい幼児には、声を掛けたり側で一緒に動いたりしながら誘う。
○絵本を見る。 「ながいでしょりっぱでしょ」	・絵本を見る前には、「はじまるよ」の手遊びをして、楽しみながら絵本を見る姿勢ができるようにする。
○振り返りをする。	◎幼児の楽しかった遊びを聞いて、しっかりと共感しながら周りの幼児にも伝えていく。また、教師が気付いた楽しい遊びや幼児の頑張りも知らせることで、幼児のよい姿を全員で認めることができるようにする。

【年中】

(1) 幼児の姿と教師の願い

幼児の姿

- 運動会を経験し、保護者や教師に頑張りを認められることで、いろいろな活動に自信をもって取り組むようになってきている。遊びの中では、自分の気持ちや考えを提案している。また、友達の様子を心配したり、友達との関わりを求めたりする姿が見られる。
- 生き物が好きで、ザリガニの幼体や、アゲハチョウの幼虫を育てることに興味をもっている。ほとんどの幼児が毎日、飼育ケースを覗きながら知っていることや気付いたことを伝え合っている。また、ザリガニが死んでしまうと主体的に埋めに行く姿が見られる。
- 振り返りでは、自分の思いを伝えたい気持ちが強い幼児が多い。頑張ったことや挑戦してできたことの話聞いた友達が「すごいね」「みてみたい」と興味をもつと、とても嬉しそうにしている。一方、自分の話を聞いてもらうことで満足して、友達の話には、興味をもたない幼児もいる。自分のいなかった遊びの場で、友達の遊びの様子を知り、刺激を受けて、自分も明日はやってみようと意欲を高めている幼児もいる。

教師の願い

- 遊んでいる中で、自分の気持ちを伝えたり、友達の気持ちや考えを聞けたりするようになってほしい。教師が質問したり友達の様子を伝えたりして、相手の気持ちを考えることができるようにしたい。また、友達との関わりを深めていく中で、より友達のことを好きになり、一緒に楽しく遊ぶことができるようになってほしい。
- 生き物の成長や変化の面白さに共感しながら、教師も一緒に成長を喜んだり、死を悲しんだりすることで、命の大切さを感じられるようにしていきたい。
- 教師が幼児の話に興味をもって聞き、応えていくことで、他の幼児も興味をもてるようにしていきたい。また、幼児の気持ちを受け止め、楽しさに共感したり、頑張りを認めたりすることで、自分が大切にされていると感じられるようにしていきたい。また、教師が捉えた幼児の素敵な姿を、紹介することで、友達の良いところに気付くことができるようにしたい。

(2) ねらいと内容

- 自分のしたい遊びを見つけて、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・遊びの中で、自分の考えを友達に知らせたり、友達の話の聞いたりする。
 - ・夢中になって遊び、教師や友達と楽しさを共有する。

(3) 評価の視点

- 自分のしたい遊びを見つけて友達と一緒に遊んでいたか。

(4) 本日の保育と人権教育

- 一緒に楽しく遊ぶことができるように、友達の気持ちを聞こうとする。

(5) 本日の展開

幼児の活動	環境構成(★)及び教師の援助(・) 人権の視点での援助(◎)
<p>○登園する。</p> <p>○身の回りの整頓をする。</p> <p>○あいさつをする。</p> <p>○それぞれの遊びをする。</p> <p>(園庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂場で遊ぶ。 ・鬼遊びをする。 ・自然物で遊ぶ。 <p>(室内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然物で遊ぶ。 ・作って遊ぶ。 ・遊戯室で遊ぶ。 <p>○片付けをする。</p> <p>○牛乳を飲む。</p> <p>○歌を歌う。 「どんぐりころころ」</p> <p>○絵本を見る。 「ごろりんごろんころろ」</p> <p>○振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整頓が進みにくい幼児には、声を掛けたり励ましたりして自分でしようとする意欲をもてるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ・好きな遊びを見つけにくく、教師と遊びたい幼児とは、一緒に遊びながら、友達との関わりをもてるように援助し、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにする。 ・砂場で友達と協力して山を作ったり温泉を作ったりしている幼児には、質問をしたり、手伝ったりしながら、みんなで作り上げることの楽しさに共感し、協力することの楽しさや大切さに気付くことができるようにする。 ・教師が鬼と一緒に走ったり、鬼になったりすることで、「なかなか捕まえない」という不安な気持ちになることなく、安心して鬼遊びを楽しむことができるようにする。 <p>◎遊びの中で、一人一人の良いところを見つけて、「友達に貸せたんだね。優しいね。」等、具体的な言葉でほめることで、自信をもてるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブルになったときは、幼児の気持ちを受け止め、相手の気持ちを考えられるように援助したり、言葉で気持ちを伝えられるようにモデルを示したりして、気持ちを言葉で伝えることの大切さを感じられるようにする。 ・自分たちで拾ったどんぐりや小枝を、一緒に分類分けをしておくことで、材料に親しみをもち、自然物を使って作ることを楽しめるようにする。 ・遊びに必要なものを作る中で、教師も一緒に考えたり、材料を探したりして、自分のイメージに近づけることの楽しさを感じられるようにする。 <p>★廃材を十分に用意して幼児と一緒に種類ごとに分けておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりの歌を歌うことで、どんぐりに親しみをもてるようにする。 ・絵本の読み聞かせを通して、温かい気持ちになれるようにする。また、相手を思いやることの大切さを感じられるようにする。 ・伝えたい気持ちはあるが、友達の前で話す自信のない幼児には、笑顔でうなずきながら聞くことで安心して話すことができるようにする。 <p>◎幼児の気持ちを受け止め、楽しさに共感したり、頑張りを認めたりすることで自分が大切にされていることを感じられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が捉えた幼児の素敵な姿を紹介することで、友達のよいところに気付くことができるようにする。 ・振り返りで、友達の遊びの話聞くことにより、自分もしてみたいという意欲につながるようにする。

【年長】

(1) 幼児の姿と教師の願い

幼児の姿

- 気の合う幼児同士で、泡遊び、砂場、鉄棒などに誘い合って遊んでいるが、それぞれが自分の目標に向かって遊ぶことが多い。時に役割を決めながら作って遊ぶことを楽しむ姿も見られる。クラス活動では、自分たちで役割を考えたり、したいことを見つけて取り組んだりして、遊びを盛り上げていくことができる。
- スケジュールを見ながら、見通しをもち、自分で考えて行動することができるようになってきている。また、片付け「パトロール隊」になることで、気持ちを切り替える幼児が増えてきている。しかし、遊びに夢中になり区切りをつけにくい幼児や個別の声掛けによって次の行動ができる幼児もあり、集まりに時間がかかる。
- 振り返りでは、印象に残る出来事があった時や、話の内容に興味をもつことができるとクラス全体で話を共有することができる。しかし、人数が多く、発言の機会を十分にもてないため、全員の気持ちが一つの方向に向きにくい。



教師の願い

- 鉄棒や縄跳びなど、自分の目標をもって取り組んでいる姿を大切にしたい。そして、その目標を友達と共有し、相談したり工夫したりしながら、一緒に取り組む楽しさを味わってほしい。また、遊びを見守りながら声を掛けたり、友達の様子を伝えたりして他の遊びに気づき、一緒にしたいという気持ちにつなげていきたい。
- 見通しをもって生活できるよう、事前に一日の流れや具体的な活動を知らせ、次の活動への期待につなげていきたい。また、区切りをつけにくい幼児の特性を理解し、「□□をするよ」と具体的に楽しい活動を伝えたり、活動の導入にわらべうたを取り入れたりして、友達と一緒に参加したいという気持ちを育てていきたい。
- 一人一人の「伝えたい」気持ちを受け止め、なるべく多くの幼児に発言の機会を与えるようにしたい。また、教師が共感したり、分かりやすく言葉を添えたりすることで、他の幼児が興味をもち、明日の遊びへつながるように工夫したい。

(2) ねらいと内容

- 気の合う友達と目的をもって、一緒に遊びを進める楽しさを味わう。
 - ・遊び方や作り方を工夫し、友達とイメージを共有する。
 - ・自分の経験したことを話したり、友達や先生の話の話を聞いたりする。

(3) 評価の視点

- 友達と一緒に工夫したり、イメージを共有したりしながら遊びを進めることができていたか。

(4) 本日の保育と人権教育

- 友達と一緒に遊びを進めていく中で、思いや考えの違いを知ったり、伝え合ったりしながら、互いのよさに気付けられるように支援する。

(5) 本日の展開

幼児の活動	環境構成(★)及び教師の援助(・) 人権の視点での援助(◎)
<p>○登園する。</p> <p>○身の回りの整頓をする。</p> <p>○あいさつをする。</p> <p>○それぞれの遊びをする。</p> <p>(園庭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄遊びをする。 ・砂場で遊ぶ。 ・ごちそう作りをする。 <p>(室内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作って遊ぶ。 ・木工遊びをする。 ・自然物で遊ぶ。 <p>○片付けをする。</p> <p>○牛乳を飲む。</p> <p>○わらべうた遊びをする。</p> <p>「どんぐりころちゃん」</p> <p>「あのね おしょうさんがね」</p> <p>「おやゆびやまのぼって」</p> <p>○絵本を見る。</p> <p>「花さき山」</p> <p>○振り返りをする。</p>	<p>・朝のあいさつをしながら、昨日の遊びの内容について触れていくことで遊びの継続ができるようにする。</p> <p>・縄遊びや鉄棒など「何に挑戦しているの?」「目標は?」などと聞き、幼児がもっているめあてを自分の言葉で伝えることができるようにする。また、幼児の小さな変化を見つけ、伝えていくことで自信へとつながるようにする。</p> <p>・一緒に遊んでいる友達に自分の考えや思いを伝えながら遊んでいるか、同じ目標をもって遊びを進めているかを探り、必要に応じて一緒に考え、友達と遊びを進める面白さを味わうことができるようにする。</p> <p>★幼児が試したり、工夫したりしながら遊びを進めることができるよう、幼児の実態に合わせて、十分な材料や必要な用具、場を用意しておく。</p> <p>◎片付けパトロール隊として、片付け忘れていたものを見つけたり、ごみを拾ったりしている姿を「ありがとう」「きれいになると気持ちがいいね」と具体的に認めていくことで、感謝される喜びを感じたり、共同の玩具を大切に扱おうとする気持ちを育てたりする。</p> <p>・わらべうた遊びをすることで、幼児が自然に集まり、帰る前の活動にスムーズに入ることができるようにする。また、2人組になることができにくい幼児には、事前にペアを決めておいたり、援助したりしていく。支援の必要な幼児には、最初は教師と行い、友達に関心が向いた時には、一緒に活動ができるよう配慮する。</p> <p>・「今日、一番のニュースはなに?」と聞くことで、友達に一番伝えたいこと、教えたいことが具体的に思い浮かんだり、発表したりできるようにする。また、自分なりに考え、相手に分かりやすく伝えようとしている姿を具体的に認めていくことで、伝えたいような雰囲気を作っていく。</p> <p>◎友達の遊びや思いを聞いて、自分とは違う遊び方や方法を知り、「面白そうだな」「自分も一緒にやってみたいな」等、かかわって遊びたいと感じられるようにする。また、話し合いを通して互いのよさに気づき、一緒に活動することへの期待感につなげていく。</p>

人権課題 障害のある人

相手を思いやる心



1 教科等 小学校4年 特別の教科 道徳

2 主題名 相手を思いやる心 [B-(6) 親切、思いやり]

3 ねらいと教材

(1) ねらい マナブの心情の変化をとらえることで、相手の立場に立って考えることの大切さに気付き、進んで親切にしようとする道徳的心情を育てる。

(2) 教材名 「ええことするのは、ええもんや！」
(出典：日本文教出版「生きる力4」)

4 主題設定の理由

(1) 指導内容について

本主題は「相手のことを思いやり、進んで親切にする」という内容項目を受けたものである。人は、困っている人がいると、自分にできることは何かを考え、それを行為として表そうとする。しかし、親切にすることができるとしても、心のどこかでは「認められたい」「ほめられたい」という思いが働いてしまうことが多い。相手の状況や気持ちを「自分のこととして」想像することによって、親切な行為を行うことができるようにしたい。

(2) 教材について

本教材「ええことするのは、ええもんや！」は、電動車いすが壊れて困っているおじさんを助けるマナブの心の変化が書かれた物語である。最初マナブは、友達や道で出会う人にほめられ、自分は立派だと満足する。その後誰にもほめられなくなったとき、「やめておけばよかった。」と後悔し始める。しかし、友達が自分を助けてくれたことで、困っているときに助けられるとうれしいことに気付く。そして、「おじさんが困っているから助ける」という自分の中の思いやりの心に気付く物語である。心のバロメータを用い、マナブの心の葛藤や変化をとらえやすくすることで、マナブの親切の質が変わったことに気付かせたい。また児童自身の心も可視化できるようにし、自分の心の変化をとらえたり、自分の親切な心について再確認させたりしたい。マナブや自分の心について考えを深めることで、見返りを求める親切ではなく、相手を思いやる親切な心の大切さについて考えることができるようにしたい。

5 他の教育活動との関連等

第3学年 総合 点字・手話体験
第4学年 総合

○自分の周りには、いろいろな立場や状況の人がいることや不便な状態について、正しく知る。

7月「やさしさって何だろう～車いす体験～」(車いす体験、お話)

9月「やさしさって何だろう～視覚障害疑似体験～」(アイマスク体験)

道徳

○相手の困っている状況を考えて、進んで助けようとする。

○親切は自分のためだけではなく、相手のためにするものであると気付く。

10月「ええことするのは、ええもんや！」(本時)

総合

- 「何でも助けてあげる=思いやり」ではなく、「その人の状況を考えて、声をかけ、助ける=思いやり」であるという考えをもつ。
- 障害のある人も、自分たちと同じように生き生きと生活をしていることに気付く。

11月「やさしさって何だろう～住みよい町づくり、人のつながり～」

6 本時（本実践）と人権教育

相手の立場に立って考えることの大切さに気付き、進んで親切にしようとする意欲や態度を育てる。（価値的・態度的側面）

7 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと・・・★

学習活動	主な発問（○）と予想される反応（・）	指導・援助の留意点
<p><導入></p> <p>1 アンケートをもとに、「親切、思いやり」について考えていこうとする意識をもつ。</p>	<p>○ほめられたり、ありがとうと言われたりする時はどのくらい親切をしようと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対しよう。 ・どちらかといえばしよう。 <p>○誰も気付かなかったり、何も言われなかつたりしたらどうでしょうか。心のバロメータに表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さっきより親切にできない。 ・それでも親切にしたい。 	<p>・児童アンケートをもとに、親切にするよさを想起させる。</p> <p>・心のバロメータを利用し児童が気持ちを表しやすいようにする。</p> <p>・ほめられる時と相手が何もしてくれない時では、親切にしようと思う気持ちに違いがあることを自覚させる。</p>
<p>親切にするときに大切な心は、どんなもの。</p>		
<p><展開></p> <p>2 教材文の前半をもとに、親切にしているマナブのはじめの気持ちについて話し合う。</p> <p>3 教材文の後半を読んで、マナブの気持ちの変化について話し合う。</p>	<p>○おじさんを助けているときのマナブはどんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分は立派。親切を続けよう。 <p>○坂を上るマナブの気持ちはどうでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もうやめたい。疲れた。 ・誰も見てくれない。 <p>◎マナブの気持ちが変わったのはどうしてでしょう。（ワークシート）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達が助けてくれたから。 ・おじさんが喜んでいるから。 <p>○最初のマナブの親切と、最後の親切はどこが違うのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初も親切は親切だけど、ほめられるからしている。 ・最初は自分のためだけど、最後はおじさんのためにしている。 	<p>・板書にマナブの気持ちのバロメータを書き表すことで、共通理解をはかる。</p> <p>・板書の心のバロメータにマナブの気持ちを表すことで、マナブの気持ちが最初と違うことが分かるようにする。</p> <p>・おじさんの親切にされてうれしい気持ちに共感できるように、自分たちの車いす体験を想起させる。</p> <p>・気持ちの変化のきっかけが何かわかるように、誰のサポートや言葉かけがあったのか確認する。</p> <p>★「自分の満足のための親切」から「相手を思いやる親切」に変わったことが分かるように、最初と最後の親切の違いを考えさせる。</p>

<p>4 見返りのない親切について、自分の生活を振り返る。</p>	<p>○最初はほめられなかったら少し親切バロメータが下がる人が多かったですね。最初と自分の考えが変わった人はいますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初はほめられるほうが良いと思ったけど、最後はほめられなくても喜んでくれるから親切にするのだと思った。 ・いいことをしたら自分もすっきりするからしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分との関わりで考えることができるように、最初に記入したバロメータと比べさせる。 ・意図的指名を行うことで、多面的・多角的な考え方を共有できるようにする。 ・認められたい、ほめられたいという気持ちは誰もが持っている感情で、悪いことではないことを押さえる。
<p><終末> 5 学習の振り返りをする。</p>	<p>○振り返りを書きましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①大切な心 <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えて進んで親切にする心が大切だとわかった。 ②自分と友だち <ul style="list-style-type: none"> ・ほめられなくても親切にする人もいるのだなと思った。 ③最初と最後を比べて <ul style="list-style-type: none"> ・相手が喜ぶなら、ほめられなくても親切にしようと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カードを掲示し、振り返りの言葉が書きやすいようにする。 ・発表させることで、他の友達の考えに触れることができるようにする。 ・授業の初めから「どんな状況でも親切にしよう」という思いをもって児童には、友達の意見を受け入れたり、自分の心情が正しいことを再確認したりできるようにする。

<評価の視点>

○児童が相手の立場に立って考え、親切にすることの大切さに気付いている。

(ワークシート・発言)

○児童が相手のことを考え、進んで親切にしようとしている。

(ワークシート)

(ワークシート)

ええことするのは、ええもんや!

名前 ()

心のバロメータ

1. 自分が親切にするときの心のバロメータを表しましょう (赤)。
2. _____
3. _____
4. 今日の授業の振り返りを書きましょう。

偏見や差別の誤りに気付き 誰もが幸せな社会を目指そう



1 教科等 小学校6年 特別の教科 道徳

2 主題名 「差別や偏見の誤りに気付き誰もが幸せな社会を目指そう」
〔C－（13） 公正、公平、社会正義〕

3 ねらいと教材

（1）ねらい ハンセン病について正しく理解し、偏見や差別をなくし、公正、公平な態度で接していこうとする心情や態度を育てる。

（2）教材名 楽しみにしていた温泉旅行

（出典：参加体験型人権学習指導案集『じんけん4』熊本市教育委員会）

4 主題設定の理由

（1）指導内容について

本主題は「誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること」という内容項目を受けたものである。

指導に当たってはこれまでにハンセン病回復者の話を聞くこと等を通して、ハンセン病の症状や時代背景、ハンセン病患者やその家族がおかれた厳しい状況を学習してきた。そして、本時では資料「楽しみにしていた温泉旅行」をもとに、ハンセン病回復者の思いや願いを考えさせる。さらに、法律（らい予防法）が廃止されても、差別をする人や偏見をもつ人がいるのは、ハンセン病に対して知的理解に乏しく、間違った判断をしているからであり、回復者の思いや願いから、正しい知識をもち正しく行動することの大切さを感じ取らせたい。

（2）教材について

ハンセン病回復者の方々は、家族と引き離されて隔離され、長年にわたって療養所での生活を強いられた。邑久長島では島と本土とを結ぶ橋ができたことや「らい予防法」が廃止されたことにより、社会復帰へ大きな期待をしていた。それにも関わらず、この教材のモデルとなった事件のように、社会復帰を果たしても病気を隠したり、療養所に戻らざるを得なかったりした。それは、人々のハンセン病に対する正しい理解がなく、偏見や差別が根強く残っているからであった。その後「ハンセン病問題の促進に関する法律」が制定され、ハンセン病問題について教育、啓発が行われるようになってきている。この資料の「楽しみにしていた温泉旅行」は、ハンセン病への誤った認識や偏見がどのように差別につながっていくのか気付かせることができる。また、偏見や差別の中で生きてこられた回復者の思いを想像するのに適した資料である。

5 他の教育活動との関連等

社会科「わたしたちのくらしと日本国憲法」基本的人権の尊重(5月)

○日本国憲法には国民としての権利及び義務が定められていること、基本的人権は侵すことのできない永久の権利として、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で保障されていることを理解する。基本的人権が守られていない事例について考える。

道徳科「いじめについて考えよう」(6月)

○いじめについて考え、正しい判断でいじめに対応することができるようにする。

総合的な学習の時間「平和学習～ヒロシマに学ぶ～」(10～11月)

○第二次世界大戦や原爆による被害から、戦争の恐ろしさや悲惨さ、平和の尊さについて考え、戦争は2度と繰り返してはならない人権侵害であると捉えることができるようにする。

「ハンセン病について考えよう」(12～1月)

○ハンセン病について正しく理解し、その歴史や問題について考え、正しい人権感覚・意識を育てる。

以上の学習を通して、現代社会が基本的人権を尊重し、誰に対しても偏見をもつことや差別することのない社会を目指していることについて理解を深め、誰に対しても公正、公平に接する心情を育てる。

6 本時(本実践)と人権教育

ハンセン病回復者の思いや願いを知り、互いを認め合い尊重し合うことは、豊かな共生社会の実現につながる。一人一人が正しい知識をもち、自分も他者も大切にできる態度を育てる。
(価値的・態度的側面)

7 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと・・・★

学習活動	主な発問(○)と予想される反応(・)	指導・援助の留意点
<p><導入> 1 ハンセン病について学習したことを振り返る。</p>	<p>○ハンセン病についてどのようなことを学習しましたか。 ・患者は強制的に隔離されていた。 ・差別されていた。 ・感染力が弱く治る病気。 ・死んでも骨を取りに来てもらえない。</p>	<p>・ハンセン病の症状、当時の世間の見方やその患者家族の置かれた状況などの時代背景を押さえながら学習を振り返る。 「人間回復の橋」「らい予防法」「らい予防法廃止」「無らい県運動」</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 偏見や差別をなくすために大切なことは何かを考えよう。 </div>		

<p><展 開> 2 資料を読みハンセン病回復者の思いについて考え、話し合う。</p>	<p>○ホテルからかかってきた電話を聞いて旅行係の人はどう思ったのでしょうか。 ・みんな楽しみにしているのに。 ・なぜ、だめなのか。</p> <p>○なぜホテルの人は宿泊を拒否したのでしょうか。 ・もしかしたら、まだうつるかもしれないと思っているから。 ・他のお客さんが怖がりホテルに来なくなったら困る。</p> <p>○あなたが旅行係だったらホテルの人に何と言いますか。 ・ハンセン病はうつりにくく、薬もあり治る病気です。 ・私たちは療養所に入っていますが、もうハンセン病は治っています。</p> <p>◎差別や偏見をもたないようにするためには、どんな心が大切なのでしょう。 ・物事を正しく理解しようとする心。 ・差別をなくそうとする強い心。 ・正しい判断ができる心。 ・誰にでも公平に接する心。</p>	<p>・資料を読み、療養所の人達が温泉旅行を楽しみにしていた気持ちを押し返す。</p> <p>・「らい予防法」は廃止されたが、なぜこのような事件が起こったのかを考えさせ、同じ人間として許せない憤りを感じ取らせる。回復者への誹謗中傷についても知らせる。</p> <p>★ハンセン病は薬により完治しているので人にうつることはないことを説明するなど、児童の自己表現の場を設ける。</p> <p>・個人で考えた後、グループで意見交流しまとめる。</p> <p>・偏見をもって接すれば差別につながるということに気付かせる。</p> <p>★自他を尊重することの大切さに気付かせる。</p>
<p><終 末> 3 現在の差別問題について考え、自分はどの行動するかを考える。</p>	<p>○今、差別はないのでしょうか。</p> <p>○友達がコロナウイルスに感染して完治して登校します。どのように声をかけますか。</p> <p>○今日の学習を振り返りましょう。</p> <p>①大切な心 ・何事にも正しい知識を持ち、正しい判断をして行動する心が大切。</p> <p>②友達と自分 ・□□さんの考えを聞いて△△と思った。</p> <p>③これからの自分 ・この学習を通してこれから、自分で考えて正しい行動をとっていきたいと思う。</p>	<p>・コロナ差別の例を挙げてハンセン病に対する偏見や差別と似ていることに気付かせる。</p>

<評価の視点>

- 誰に対しても偏見をもつことや差別することなく、公正、公平な態度で接することの大切さについて考え、実践意欲を高めることができたか。(ワークシート)
- 友達の意見を聞いて考えを深めたり、自分の思いや考えを発言したりすることができたか。(ワークシート・発言)

人権課題 障害のある人

障害のある人の理解を通して



- 1 教科等
中学校第2学年 総合的な学習の時間
- 2 単元名
障害のある人の理解を通して
- 3 単元設定の理由
本単元では、障害のある方々との交流事業を通して、障害について学び、その特性などの理解を通して、共に支え合えあう関係性の構築やこれから出会う人たちに分け隔てなく思いやりをもって接することができる生徒を育成したい。
- 4 単元の目標
 - (1) 障害者等地域自立支援協議会の方や障害のある方の講演を通して、自らの考えや意見をもつことができる。【主体・創造・協同】
 - (2) 障害のある人との関わり方について考え、現在の問題点を見つけ、改善方法を考えることができる。【問題解決・探究活動】
 - (3) 障害のある人との関わりを学ぶことで、今後の人間関係の構築について考えることができる。【自己の生き方】

5 単元の評価規準

主体的、創造的、協同的に取り組む。	問題解決や探究活動に取り組む。	自己の生き方を考える。
障害のある人との交流や障害について考える中で、意欲的に活動に取り組み、自らの考えや意見をもっている。	障害のある人との関わり方や、共に支え合える関係性の構築を目指して、現在の問題点や今後の改善点を考えている。	障害のある人との関わりを学ぶことで将来の人間関係の構築について考えている。

6 指導と評価の計画(全6時間)

小単元名(回数)	時	主な学習活動	評価規準及び評価方法
1 個性について	1	○自分の個性について考える。 ○個性によっては生きづらさを感じる状況があったり、それが障害とよばれたりすることがあることを理解する ○「あいサポーター」*について知る。	・自分の個性について考えている。 【自己の生き方】ワークシート ・障害のある人との関わり方を理解している。 【主体・創造・協同】ワークシート
2 チャレンジド交流事業*	1	○学校行事のチャレンジド交流事業で、福祉施設の方の講演を聞き、身体障害、精神障害、知的障害について理解する。	・身体障害、精神障害、知的障害などがどのような障害なのか、理解している。 【主体・創造・協同】ワークシート

	2	○元プロレスラー（試合中の事故で四肢麻痺となる）の講演を聞き、障害によって様々な不便さはあるが自分らしく生きていることを知る。	・講演から、自分の障害を受け入れ、自分らしく生きるために大切なことを考えている。 【問題解決・探求活動】ワークシート
3 障害について	1	○チャレンジド交流事業や講演を振り返る。 ○「バリアフリー社会のおもいやり」という冊子を用いて、様々な障害があることを知る。 ○障害のある人が日常生活で困る場面を考える。	・障害のある人が困りそうな場面を考えている。 【問題解決・探求活動】ワークシート
4 まとめ	1 本時	○共生社会を実現するためにあいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことを考え、障害の特性に応じて適切に支援する方法を考える。	・あいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことについて考えている。 【自己の生き方】観察・ワークシート ・障害の特性に応じて適切に支援する方法をあいサポーターとして具体的に考えている。 【問題解決・探求活動】観察・ワークシート

*チャレンジド交流事業・・・吉備中央町障害者等地域自立支援協議会が主催する行事で障害について学ぶ。

*あいサポーター・・・「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と、支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障害のある人を優しく支え、自分の意思で行動していく人

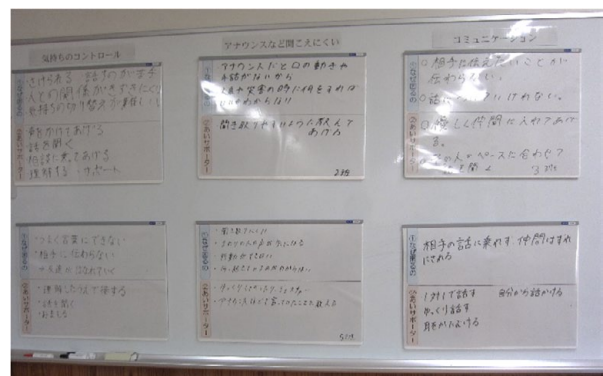
7 本時と人権教育

○障害の特性について考え、自他の価値を尊重しようとする意欲や態度を育てる。

【価値的・態度的側面】

○障害のある人との関わり方を学ぶことで他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能を育てる。

【技能的側面】



8 本時案

(1) 本時の目標

あいサポーターとして気をつけることや大切にしたいことを踏まえ、具体的な行動を考えることができる。

(2) 展開

人権教育の視点から特に重要なこと…★

学習活動	教師の指導・支援	学習評価
1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを知る。	○障害のある人がただ助けてもらうことを望んでいたかどうかをワークシートや講演会など前時までの学習から思い出させる。 ○「あいサポーター」について確認する。	
あいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことについて考えよう。		
2 障害のある人が日常生活で困る場面や、なぜ困る状況になるのかを考える。	○前時に生徒が考えた障害のある人(コミュニケーションをとることが苦手、感情のコントロールが苦手、耳が聞こえにくい)が日常生活で困る場面を提示し考えさせる。 ★学習班ごとに異なる場面を考えさせ、班内で多様な意見がでるよう個別に指導する。 ○どんな考えが出されたか、発表し、考えを共有する。	
3 自分の個性を生かしたサポートの方法を考える。	★困る場面の中から、人それぞれサポートの形は違うことを押さえながら、あいサポーターとして自分なら何ができるかを考えさせ、ワークシートに書かせる。	・あいサポーターとして気をつけることや、大切にしたいことについて考えることができる。
4 書いた内容を学習班で共有し、お互いにメッセージを書き合う。	★学習班で、ワークシートを見せ合い、サポートの方法についてお互いに肯定的メッセージを書かせる。 ○相手の個性を認めた声掛けをすることもサポートの一つであることに気付かせる。	【問題解決・探究活動】 観察・ワークシート
5 本時の学習をまとめる。	○これまでの学習を通して学んだことや感じたことを含めて本時の学習についてまとめられるようにする。 ○発表させ、全体で共有する。	
いろいろな特性を理解し、その特性を個性として認め合い行動することが大切である。		
7 本時を振り返る。	○ワークシートに記入し、発表させる。 ○一人一人が自分らしく生きていけるようお互いがサポートしていくことの大切さを確認する。	・あいサポーターとしてできることを具体的に考えている。 【自己の生き方】 観察・ワークシート

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する生徒の姿の例

・これまでの学習を通して、あいサポーターとして自分のできることを考えている。

(ワークシート)

人権学習

()年()組()番 名前()

めあて

困る場面	
なぜ困る？	あいサポーターとして何ができるか
(個人)	
(班)	

自分なら何ができるか、具体的な行動を考えよう。

気持ちのコントロールが苦手	
アナウンスなどが聞き取りにくい	
コミュニケーションが上手く取れない	

メッセージをもらおう

サイン ()	サイン ()
サイン ()	サイン ()

まとめ

あいサポーターとして、

人権課題 インターネットによる人権侵害

正しく怖がり、 賢く使うインターネット



- 1 教科等
中学校第3学年 特別の教科 道徳
- 2 主題名
正しく怖がり、賢く使うインターネット A-(1) [自主・自律・自由と責任]
- 3 ねらい
SNS等で情報を発信・拡散する際、自分の発言や行動に責任があることを知り、その行為による影響を考え、正しく判断しようとする態度を育てる。
- 4 主題設定の理由
 - (1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方
インターネットは便利であるが不確かな情報も多く、安易に情報を発信・拡散すると、誹謗・中傷等の被害、差別や偏見を助長することにつながる。本時は、情報の拡散希望に出会った場面を想定し、情報発信者として受信者のことを考え、その是非について討論し、情報の正確性や発信・拡散による影響等から正しい判断をすることの大切さに気づき、インターネットを賢く使おうとする態度を養いたい。
 - (2) これまでの学習状況
『スマホ時代の私たち～被害者にも加害者にもならない～』の講演会で、①誹謗・中傷、②ネット依存、③ネットの危険、④インターネット上での人間関係等、インターネットの便利さや怖さについて知識を深めた。
①誹謗・中傷と④インターネット上での人間関係では、日常会話とインターネット上の会話のメリット・デメリットについて考え、言葉の伝わり方と伝え方、そして、自分の発言や行動に責任をもつことの大切さを理解した。また②ネット依存については、講演会の中で深く掘り下げ、③ネットの危険については、文部科学省推奨の動画を視聴し、個人情報の流出で、自分自身だけでなく、周りにも被害が及ぶことに気づき、慎重な行動を取ることの大切さを学習した。
- 5 本時（本実践）と人権教育
インターネット上でのいじめ、誹謗中傷、トラブル等での加害者や被害者になる危険性が高まってきている中、自他を認め合い、支え合える人間関係の構築と学び合いをしていく中で、自分とは違う意見や考え方を共感的に受容できるようにする。
(技能的側面)

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
<p><導入></p> <p>1 本時のねらいを確認する。</p>	<p>○個人情報の取り扱い、言葉の伝え方について、大切にすることは何でしたか。</p> <p>・自分の発言や行動に責任をもつことの大切さ。</p>	<p>・前時までを振り返り、拡散を題材とした内容に取り組むことを知らせる。</p>
『情報を見極める力』 ネット上の情報を正しく使うために大切なことは何だろう。		
<p><展開></p> <p>2 拡散によって、助かった例を知る。</p> <p>3 拡散希望メッセージについて、自分ならどうするかを考え、グループ同士で討論する。</p> <p>4 討論を振り返る。</p> <p>5 自分の生活を振り返ってインターネットの情報にどのように接しているか考え、グループ内で共有する。</p>	<p>○この拡散希望メッセージは、SNSで拡散させるべきか、させないべきですか。</p> <p><拡散させる></p> <p>・緊急性を感じる。</p> <p>・困っていると思う（手助け）。</p> <p>・犯人を捕まえる。</p> <p><拡散させない></p> <p>・間違った情報かもしれない。</p> <p>・正しい情報なのか調べる。</p> <p>○今の討論はどうでしたか。</p> <p>・自分の意見を押し通した。</p> <p>・勝つことばかりに気を取られ、冷静さを失った。</p> <p>・相手の意見をふまえて、答えることができた。</p> <p>◎授業で自分の発言や行動に責任をもつことや冷静になることの大切さを学んできましたが、過ちを繰り返してしまうのはなぜでしょう。</p> <p>・授業と関係がないと思っていた。</p> <p>・そこまで深く考えなかった。</p> <p>○グループで話し合ったことや今日の討論、前回までの学習を思い出し、インターネットを使うときに大切なことは何だと思いましたか。</p> <p>・正しい情報ではなかった場合、傷つく人がいると想像すること。</p> <p>・情報を見極める力の大切さ。</p> <p>○学習を振り返り、自分の今後の行動について考えましょう。</p> <p>・普段の生活から、自分自身の発言や行動に責任を持ち、どんな状況でも冷静な判断をしていきたい。</p>	<p>・講演会で聞いた拡散した情報に助けられた人の話を思い出させる。</p> <p>・自分の意見をグループ内で発表し、反対派の意見を予測し、その反論も考え討論の準備を行わせる。</p> <p>・相手を納得させることの大切さを伝える。</p> <p>・相手の意見を聞くよう指示する。</p> <p>・感情的にならないよう伝える。</p> <p>・拡散させる派、拡散させない派の順番で意見をホワイトボードに掲示し討論を開始させる。</p> <p>・冷静に先程までの討論を思い出させる。</p> <p>・討論等を踏まえ、自分のこととして考えさせる。</p> <p>・グループで共有させる。</p> <p>★友達の意見を聞き、同じ意見や違う意見があること、様々な考えがあることに気付かせる。</p> <p>・ワークシートに記入させる。</p> <p>★学校や家庭での言動を見直し、今できることは何か考えさせる。</p>
<p><終末></p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<p>○学習を振り返り、自分の今後の行動について考えましょう。</p> <p>・普段の生活から、自分自身の発言や行動に責任を持ち、どんな状況でも冷静な判断をしていきたい。</p>	<p>★学校や家庭での言動を見直し、今できることは何か考えさせる。</p>

評価の視点

- ・インターネット社会において、自分の発言や行動に責任をもち、自分がどうすべきかを相手の立場に立って冷静に正しく判断することの大切さについて考えることができたか。

(ワークシート)

情報を見極める力

～ネット上の情報を正しく使うために大切なことは何だろう…～

()年()組()番 名前()

○拡散希望のメッセージを読んで、あなたはごどう思いますか。

自分なら…(拡散させる ・ 拡散させない)

なぜ?

○繰り返してしまうのはなぜだろう…?

○インターネットを使う時、大切なことは何だごと思いますか?

○今までの学習の振り返り・今後の行動について…

ハンセン病問題を 学んだ私たちにできること



1 教科等

高等学校 2年 看護・福祉コース 総合的な探究の時間

2 単元名

ハンセン病問題の歴史と現状をふまえた考察

3 単元設定の理由

ハンセン病問題は、国の隔離政策や無らい県運動、患者や家族に対する差別、国民の問題に対する無関心など多くの問題を含んでおり、ハンセン病問題について学ぶことは、人権とは何か、偏見や差別とは何かを学ぶことにつながると考えている。しかし、療養所に入所されている方の高齢化などで直接話を聞くことが難しくなっており、記憶の風化が心配されている。若い世代がハンセン病問題を学ぶことは、ハンセン病問題に関わる記憶をつないでいくという意義があると考えます。

岡山県には瀬戸内市邑久長島に長島愛生園と邑久光明園の2つの国立ハンセン病療養所があり、長島愛生園内には社会復帰を目指す若者のために全国の療養所で唯一設けられた邑久高校の分校、新良田教室があった。これまで総合的な探求の時間において、療養所で暮らす方や新良田教室の元教師による講話、長島愛生園への訪問、研究内容の校外での発表など多くの活動を行ってきた。

生徒が、学習を通して単に「知っている」、「経験した」だけではなく、差別について思考を深めていくなかで、偏見や差別に気付き「おかしい」「間違っている」と言える自他の人権擁護の実践力をもつ生徒の育成を目指していきたい。

4 単元の目標

○ハンセン病問題について関心をもち、メディア等から積極的に情報を得て認識を深めようとしている。〔関心・意欲・態度〕

○ハンセン病問題について問題点を整理し、グループで話し合うことで問題に対する思考を深め、差別に対しどのように行動していくかを考えることができる。

〔思考・判断・表現〕

○ハンセン病問題について学習したことをパネル形式でまとめ、パワーポイントを使って実践報告会で発表することができる。〔技能〕

○ハンセン病問題に対する正しい知識を身に付けるとともに、基本的人権や権利擁護に対して正しく理解することができる。〔知識・理解〕

5 指導計画

生徒の活動	評価規準
<p>第一次 ハンセン病問題の歴史と現状を踏まえた考察</p> <p>第1時 ハンセン病問題の歴史についての基礎知識の確認</p> <p>第2時～第8時 ハンセン病問題に係る情報収集と本年度の研究対象の決定</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象図書を選択と、資料収集 ・ハンセン病にかかわった方の講演会 <ul style="list-style-type: none"> ①NPO法人「むすびの家」理事 矢部 顕氏 ②ハンセン病家族訴訟副団長 黄 光男氏 ③RSKアナウンサー 米澤 秀敏氏 ・邑久光明園、長島愛生園への訪問 <p>第9時 学習のまとめ（本時）</p>	<p>◇意欲的に講演を聞いたり情報収集したりするなど、課題に取り組もうとしている。〔関心・意欲・態度〕</p> <p>◇研究対象を決定し、多様な視点から分析し、自分の考えを表現できている。〔思考・判断・表現〕</p> <p>◇ハンセン病についての正しい知識を身に付けている。また、基本的人権や権利擁護の重要性について理解できている。〔知識・理解〕</p>
<p>第二次 準備・発表</p> <p>【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容の決定 ・発表に向けた役割分担と準備（原稿、パワーポイント作成者、発表者など） ・発表（年間活動の振り返り） 	<p>◇研究対象を通じて課題を発見し、ハンセン病問題に関して伝えたい事柄を多様な視点でまとめることができる。〔技能〕</p>

6 本時と人権教育

ハンセン病問題について発表する意義と差別を解消するための具体的な視点について自分の意見をまとめることができるようにする。〔価値的・態度的側面〕

7 本時の目標

- ハンセン病問題について多角的に考察し、問題点を整理しようとしている。〔関心・意欲・態度〕
- ハンセン病問題について問題点を整理し、個人の意見をまとめグループで話し合うことにより問題に対する思考を深めることができる。〔思考・判断・表現〕

8 本時の展開

人権教育の視点から特に重要なこと…★

学習活動	教師の指導・支援上の配慮事項など	評価規準, 観点, 評価方法
<p>ハンセン病問題を学んだ私たちが差別を解消するために伝えなければならないことは何だろうか。</p>		
<p>〈導入〉 1 これまでのハンセン病学習を振り返る。</p> <p>〈展開〉 2 ハンセン病問題について友人に伝えたいことを考える。 3 ハンセン病問題について最も伝えたい事柄とその理由をグループで話し合い、発表する。</p>	<p>○パワーポイントでこれまでの学習の様子を示す。(療養所への訪問、講演会など)</p> <p>○心に残っている事、印象に残っている事をブレインストーミングで付箋に書かせる。(短い文章で書くように指示をする。)</p> <p>○自分が考えた中から、ハンセン病問題について知らない友人に伝えたいことを3つ選び、付箋をワークシートに貼らせ、選んだ理由を記入させる。</p> <p>○自分が選んだ3つの事柄とその理由をグループ内で発表させる。 ○ホワイトボードに付箋を貼らせ、同じような内容の事柄をグループ分けしてタイトルをつけさせる。 ○グループとして最も伝えたい事柄を一つ選び、その理由について話し合わせる。 ○グループとして最も伝えたい事柄とその理由を代表者に発表させる。 ○発表を聞きながら、他のグループの意見をワークシートにメモをとるように促す。</p>	<p>○一番伝えたい事柄について理由も含めて伝え合うことができている。 [思考・判断・表現] ＜ワークシート・観察＞</p>
<p>〈終末〉 4 ハンセン病問題について伝える意義を考えて、発表する。 5 本時のまとめ。</p>	<p>○全体発表の場でハンセン病問題について伝える意義を考え、ワークシートに記入し、発表させる。</p> <p>○本時のまとめを行い、全体発表に向けた準備につなげる。</p>	<p>★差別や人権侵害を解消する方法を具体的に記入できている。 [思考・判断・表現] ＜ワークシート＞</p>

〈ワークシート〉

ハンセン病問題～ハンセン病問題を学んだ私たちが私たちにできること～

【本時の主題】

○ハンセン病問題を学んだ私たちが差別を解消するために伝えなければならないことは何だろうか。

導入 スライドを見て今まで学習したハンセン病問題の学習を振り返ろう。

展開 1 今まで学習したことを振り返ってまとめよう。

思考 1：ハンセン病問題について学習してきた中で心に残っている事、印象に残っている事について思いつく限り付箋に記入しよう。

作業 1：ハンセン病問題について知らない友人にハンセン病問題の事を伝えろという視点で自分がハンセン病問題を考える上で大切だと思うことを3つ選び、下に貼り付けよう。

--	--

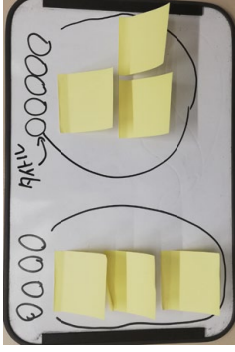
思考 2：なぜ大切だと思ったのか選んだ理由を下に記入しよう。

展開 2 グループで意見を出し合いながら、ハンセン病問題についてまとめよう。

発表 1：自分が選んだ事柄とその理由を順番に発表しよう。その際、自分以外の人の意見を簡単にメモでまとめてみよう。

メモ

作業 1：右の例を参考にホワイトボードに付箋を貼り、同じような内容のをまとめて簡単なタイトルをつけてみよう。



話し合い：最も伝えたい事柄についてグループで話し合い、グループ内で理由をまとめ、下に記入しよう。

◎ハンセン病問題を学習してきた私たちが最も伝えたいことは、-----
理由は、-----

発表 話し合ったことについて発表しよう。

発表：他グループの発表を聞き、他のグループの最も伝えたいことを下にまとめよう。

() 班：-----

() 班：-----

考察 ハンセン病問題について発表する意義について考えよう。

思考：各グループの発表を聞いたうえで、今後ハンセン病問題について全体発表する意義について考え、ワークシートに記入しよう。

※皆の前で発表する意味、聞く人にどんなことを感じて欲しいのか、考えて欲しいのか、どのような視点で発表したいのか、私たちが伝えなければならないことは何なのか。

【自分の意見】

【他の人の参考になった意見】

基本的人権と 性的マイノリティ(LGBT)の問題



1 教科等
高等学校 2 年 現代社会

2 単元名
基本的人権の保障

3 指導上の立場
○単元(題材)観

基本的人権は日本国憲法で保障されており、法の下での平等によりすべて国民は差別されないと定められている。しかし現実社会においては、様々な差別が問題となっている。本単元では、個別的な人権課題を取り上げ、知的理解を深めるとともに、なぜそのような差別が生まれるのか、人権問題の本質について考察させたい。

本時では人権課題として性的少数者(LGBT)を取り上げた。2015年の文部科学省通知「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細やかな対応の実施等について」によって学校での対応等が示されたが、まだ社会的には十分理解が進んでいないと考えられる。また、宝塚大学看護学部の日高庸晴教授の調査によると、LGBTの生徒へのいじめ、自傷行為、自殺未遂といった事例の発生率は、LGBTの当事者ではない集団と比較すると高率であることが報告されている。

現代社会の授業においてLGBTに関する問題を取り上げ、性の多様性について考え肯定的メッセージを発信することは、当事者のみならず、それ以外の生徒についても人権感覚を育成する上で意義があることだと考える。さらに、「現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる」という現代社会の目標にも適した題材であると考えられる。

○本単元(題材)で工夫する点や手立て

生徒は事前に入権教育講演会で宝塚大学の日高教授による講義を受け、性的少数者についての基本的な知識を身に付けている。本時では、現代社会の目標と人権教育の目標を両立するために、日本国憲法で保障される基本的人権と個別的な人権課題とをつなげていくような展開にしたい。

プライベートな部分に触れる題材であることから、生徒の人権に配慮しつつ、自己理解を深め、人権感覚の育成につなげるため主体的活動を効果的に取り入れ、「書く・話す・発表する」といった活動を通して考えが深まるように工夫する。また、生徒の理解を視覚的に深めるために図表をパワーポイントで提示する。

4 単元の目標

- 基本的人権の保障について、その実際的な意味、社会の変化に伴う新しい人権の要請などについて関心を高め、考えようとしている。[関心・意欲・態度]
- 日本国憲法における人権保障の基本的な考え方や法の下での平等の意義について具体的事例を通して考察することができる。[思考・判断・表現]
- 日本国憲法に関する人権と平和主義に関する記述について資料集を適切に活用することができる。[資料活用 of 技能]
- 冷戦後の安全保障についての法整備の動きを理解することができる。[知識・理解]

5 指導計画

主な学習活動	評価規準
<p>第一次 日本国憲法と3つの原理・・・1時間 第1時 日本国憲法の三大原理について理解する。</p>	<p>◇資料から日本国憲法の基本原理を理解し、まとめることができる。〔資料活用の技能〕<ワークシート></p>
<p>第二次 基本的人権の保障・・・4時間 第1時 人権成立の背景について理解する。 第2時 法の下での平等におけるLGBTに関わる問題について理解する。(本時) 第3時 法の下での平等におけるハンセン病問題について理解する。 第4時 人権を守るための国民の義務と責任について考える。</p>	<p>◇憲法における人権規定について、資料を活用しまとめることができる。〔資料活用の技能〕<ワークシート> ◇法の下での平等について具体的事例を通して人権問題について主体的に考察し、意見を話し合いまとめることができる。〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕<ワークシート></p>
<p>第三次 新しい人権と人権保障の広がり・・・2時間 第1時 新しい人権について理解する。 第2時 今の社会でどのような人権が必要か新しい人権を考える。</p>	<p>◇現代に必要な新しい人権をグループで考えまとめて発表することができる。〔関心・意欲・態度〕〔思考・判断・表現〕<ワークシート></p>
<p>第四次 平和主義と安全保障・・・2時間 第1時 憲法における平和主義について理解する。 第2時 これからの安全保障政策について考える。</p>	<p>◇冷戦後の安全保障と憲法における平和主義の関係について理解することができる。〔知識・理解〕<ワークシート></p>

6 本時と人権教育

- 性の多様性について理解を深め、多様性を尊重しようとする態度を養う。
〔価値的・態度的側面〕

7 本時の目標

- 日本国憲法の関係条文に基づきLGBTの人権問題について考察し、まとめることができる。〔思考・判断・表現〕
- 資料を読み取り多様性を尊重する社会の実現について考えようとしている。
〔関心・意欲・態度〕〔資料活用の技能〕

学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価規準、観点、評価方法
<p>〈導入〉</p> <p>1 憲法における人権規定について確認する。</p>	<p>○憲法における人権規定について確認させる。特に法の下での平等について着目させる。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">多様性を認める社会とはどのような社会だろうか。</p>	
<p>〈展開〉</p> <p>2 憲法第24条「両性の本質的平等」について考える。</p> <p>3 セクシュアリティの構成要素（4つの性）やLGBTについて理解する。</p> <p>4 セクシュアルマイノリティ当事者の手記を読み、LGBTの人権問題について考える。</p> <p>5 「LGBTの人権問題を解決するために私たちができること」についてグループで話し合う。</p>	<p>○憲法第24条を確認し、「両性」とは何を指すのか発表させる。その際「両性」はどのような性を想定しているかと補足する。</p> <p>○クラスの中に当事者がいるかもしれない、と意識しておく。</p> <p>○セクシュアリティの構成要素をスライドで確認し、自分の性について、頭の中で考えさせる。</p> <p>○スライド3～7をもとにLGBTや、性的指向と性自認の違いを説明し、SOGIという概念を紹介する。</p> <p>○スライド8のセクシュアルマイノリティの当事者が書いた図を見て、性に関する認識には人それぞれ違いがあることに気付かせる。</p> <p>★誰もが自分のセクシュアリティをもち、セクシュアリティは一様ではない（性の多様性があることに）に気付かせる。</p> <p>○当事者（ゲイ男性）の手記を読み、なぜ悩みを抱えながら生きていかなければいけないのか、ワークシートに記入させる。その際、憲法の条文に触れ、人権問題であることを意識させる。</p> <p>★「LGBTの人権問題を解決するために、私たちができること」をグループで話し合い、最も大切な意見をまとめさせる。</p> <p>○グループで話し合った内容を発表させる。</p>	<p>◇LGBTの人権問題の解決の方法を話し合い、自分の意見を記入している。 [思考・判断・表現] <ワークシート></p>
<p>〈まとめ〉</p> <p>6 多様性を認める社会について考える。</p>	<p>○多様性を認める社会とはどのような社会か、ワークシートに「○○社会」という形でまとめさせる</p> <p>○世界の法整備の動向と日本のパートナーシップ制度を紹介する。</p>	<p>◇多様性を認める社会について自分の意見を記入している。[思考・判断・表現] <ワークシート></p>

参考文献：日高庸晴『パワポLGBTQをはじめとするセクシュアルマイノリティ授業』（少年写真新聞社）

日高庸晴『もっと知りたい！話したい！セクシュアルマイノリティ ありのままのきみがいい』（汐文社）

スライド1

性の要素

- 1 身体の性別：生まれながらの生物学的な性別
- 2 こころの性：性自認、自分の性別をどう認識するか
- 3 社会的な性：後天的に身につけていく性
 - 性別役割：社会に期待される男・女としての役割
 - 性別表現：服装やどのようにふるまうか
- 4 好きの性：性的指向、恋愛や性的関心の対象
- 5 法的な性別

スライド2

身体の性	女		男
こころの性	女	—————	男
性別表現	女	—————	男
好きな人	女	—————	男

スライド3

異性愛者 女性 の一例

身体の性	女		男
こころの性	女	—————	男
性別表現	女	—————	男
好きな人	女	—————	男

異性

スライド4

同性愛者 女性 の一例

身体の性	女		男
こころの性	女	—————	男
性別表現	女	—————	男
好きな人	女	—————	男

同性

スライド5

トランスジェンダー男性 の一例

身体の性	女		男
こころの性	女	—————	男
性別表現	女	—————	男
好きな人	女	—————	男

スライド6

「LGBTQ」とは？

L レズビアン	女性を好きな女性
G ゲイ	男性を好きな男性
B バイセクシュアル	性別に関係なく魅かれる人
T トランスジェンダー	出生時と異なる性別で生きる人 ※性同一性障害・性別違和は診断名
Q クエストヨニング	性自認・性的指向がはっきりしない 典型的な男性・女性でないと感じる

スライド7

セクシュアルマイノリティとは？

- 性的マイノリティ、性的少数者
- 性別、性自認、性別表現、性的指向などにおいて、多数とは異なる性のありようをもつ人たち。
- LGBTQと同義で使われることも多い。

スライド8

例1

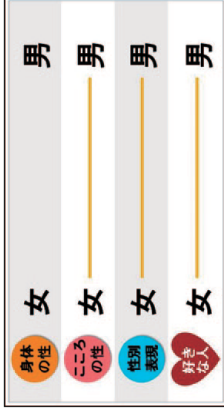
マイノリティ当事者に書いてもらいました

<p>①</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>身体の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>こころの性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>性別表現</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>好きな人の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> </table>	身体の性別	女	男	こころの性別	女	男	性別表現	女	男	好きな人の性別	女	男	<p>②</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>身体の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>こころの性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>性別表現</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>好きな人の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> </table>	身体の性別	女	男	こころの性別	女	男	性別表現	女	男	好きな人の性別	女	男
身体の性別	女	男																							
こころの性別	女	男																							
性別表現	女	男																							
好きな人の性別	女	男																							
身体の性別	女	男																							
こころの性別	女	男																							
性別表現	女	男																							
好きな人の性別	女	男																							
<p>③</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>身体の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>こころの性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>性別表現</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>好きな人の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> </table>	身体の性別	女	男	こころの性別	女	男	性別表現	女	男	好きな人の性別	女	男	<p>④</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>身体の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>こころの性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>性別表現</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>好きな人の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> </table>	身体の性別	女	男	こころの性別	女	男	性別表現	女	男	好きな人の性別	女	男
身体の性別	女	男																							
こころの性別	女	男																							
性別表現	女	男																							
好きな人の性別	女	男																							
身体の性別	女	男																							
こころの性別	女	男																							
性別表現	女	男																							
好きな人の性別	女	男																							
<p>⑤</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>身体の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>こころの性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>性別表現</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>好きな人の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> </table>	身体の性別	女	男	こころの性別	女	男	性別表現	女	男	好きな人の性別	女	男	<p>⑥</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>身体の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>こころの性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>性別表現</td><td>女</td><td>男</td></tr> <tr><td>好きな人の性別</td><td>女</td><td>男</td></tr> </table>	身体の性別	女	男	こころの性別	女	男	性別表現	女	男	好きな人の性別	女	男
身体の性別	女	男																							
こころの性別	女	男																							
性別表現	女	男																							
好きな人の性別	女	男																							
身体の性別	女	男																							
こころの性別	女	男																							
性別表現	女	男																							
好きな人の性別	女	男																							

★★一口に性と言っても性の捉え方は様々である。日高先生の講演でも学習した性の要素（セクシュアリティ）についてスライドを見て考えてみよう。

【5つの性】

- ① () の性・・・生物学的な身体の性
- ② () の性・・・自分の性別と感じているか
- ③ () の性・・・「男らしさ」・「女らしさ」など社会の中で作られた性
- ④ () の性・・・好きになる相手の性
- + ⑤法の性・・・法律で定められている性



考察：①～④の自分の性について右図を見て頭の中
で想像してみよう。

実際にどのようなパターンがあるかスライドを
見て考えてみよう。

★★「 」という概念

- ①Sexual Orientation and Gender Identity (性的指向と性自認)の頭文字をとった言葉
- ②「()とそうでない人」のように「 」と捉えるのではなく、誰もが、() を持つ存在として () ことが大切であるという考え方。

【課題2】世界には性的マイノリティとして差別に苦しんでいる人も多い。当事者の手記を読
んで考えてみよう。

思考1：LGBTの当事者の手記を読み、なぜ悩みを抱えながら生きていかなければいけ
ないのか考え、自分の意見を下にまとめてみよう。

思考2：LGBTの人権問題を解決するために、私たちができていることは何かあるだろうか
グループで意見を出し合い、最も大切だと思うことを下にまとめてみよう。

私たちが考えたLGBTの人権問題を解決するためにできる最も大切なことは、

【まとめ】他のグループの意見を聞き、多様性を認める社会とはどのような社会だと考えたか
下に記入してみよう。

私ができる多様性を認める社会とは、

()) **社会**です。

〈ワークシート〉

日本国憲法の基本原理

② 基本的人権の保障

【本時のゴール】

- ①日本国憲法の関係条文に基づき「LGBT」の人権問題について考察し、まと
めることができる。
- ②資料を読み取り多様性を尊重する社会の実現について考えようとしている。

【導入】憲法における人権保障について確認しよう。

憲法…人権を列挙し、人権の侵害を禁止している。
人権に関する規定にはどのようなものがあるだろうか。

① 基本的人権の不可侵性 (憲法第11条)

条文：国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保証す
る基本的人権は、() の権利として、現在及び将来の国民に与
えられる。

② () の ()、() (憲法第13条)

条文：すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国
民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、
最大の尊重を必要とする。

③ () (憲法第14条1項)

条文：すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門
地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

→ 憲法では人種、信条、性別、社会的身分などによるあらゆる差別が禁止されています。
しかし、現実には多くの人権を侵害する差別が存在することも事実です。

【展開1】憲法の条文から具体的事例を通して人権問題について考えてみよう。

◎ 両性の本質的平等 (憲法第24条)

【条文】

① 婚姻は、() の合意のみに基づいて成立し、夫婦が同等の権利を有すること
を基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

② 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに離婚及び家族に関するその他の
事項に関しては、法律は、個人の尊厳と () の () に立脚して、
制定されなければならない。

考察：この場合憲法で規定している性はどのような性だろうか？

令和2年度人権学習充実拠点校事業 実践事例集

令和3年3月 発行 岡山県教育庁人権教育課

〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4番6号

TEL：086-226-7612

FAX：086-224-2134

HP：<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/153/>